

健康づくりにも「快汗」

ヴィスポことひらの外観＝琴平町五条



● ヴィスポことひら

琴平町の「元気」を牽げるなら、総合型地域スポーツクラブ「ヴィスポことひら」は外せないだろう。2004年11月の発足で、1歳未満から90代までの約3700人が会員登録。町が整備した町民体育館（同町五条）で多彩なスポーツプログラムを展開し、年間利用者が延べ30万人超という人気ぶりだ。

ある競技のトップチームの存在を核に、幅広い世代がともにスポーツに親しみ、競技力向上や健康づくりなどを図る。同町が目標に描いた総合型クラブの姿は、こんな「欧州型」。実現のため取った策が、大手スポーツジムとの連携だった。

県内でも実績のあったコナミススポーツ&ライフ（東京）を運営主体に迎えて、ジムマシンやフィットネスなどの種類を充実。ヴィスポの場合はこの上に、卓球やバドミントン、テニスなど9種類の「サークル」を設置。各競技で専門コーチが指導することで、「健康づくり」以上を目指すスポーツ体制を整えている。これらプログラムの開催数は週に約140コマ。しかも、町の委託事

業に当たるため、会費料金は民間のスポーツジムの半額以下。選択肢の多さや安価さが評判を呼び、利用者は関係者の想定を大きく上回った。管轄する町教委生涯教育課の佐藤安正課長は「会員数は当初予想の1700人程度から倍以上。ありがたいし、驚いたし、誇りに思う」と目を細める。

発足から6年目で、既に安定路線に入っている同クラブ。しかし、進化は止まらない。今後は、四国学院大（善通寺市）との連携拡大やスポーツ団体などの協力体制を

年間30万人超利用 多彩なプログラム提供



ダンスフィットネスを楽しむ会員たち。誰もが真剣な表情だ＝琴平町五条

【メモ】クラブの営業時間は午前10時～午後11時（土日・祝日は午後8時まで）。火曜定休。問い合わせは（0877-75）0010。

「地域でつくり、参加して、育てるクラブ。そ

の理想に向け、しっかりと進んでいる」と断言する佐藤課長。イタリア語で「元気」「活発」という意味を持つヴィスポが、これからも地域に元気を与えていく。